



# 羅針盤

2013年度 第11号  
都立豊多摩高等学校  
進路図書部  
2013.10.30



進路指導室が移転します！

現在のB棟1階から、B棟2階へと垂直移動し、応接室・PTA室と入れ替わった配置となります。11月16日(土)に一日で移動を完了し、連休明けの11月19日(火)にリニューアルオープン！の予定です。

これまでは生徒の皆さんの通常の動線から少々離れたところにあっただけ、まだ一度も入ったことの無い人もいることでしょうか。これからは今までよりも気軽に立ち寄れることと思いますので、学年に関係なく積極的に活用してください。B2講義室が隣ですから、3年生は赤本などを借り出して隣で学習してすぐに返却するといった利用がおすすめです。

進路図書部の先生も、より多くの時間に在室できるようになりますから、1・2年生も進路相談などに来室して下さい。お待ちしております。



3年生の推薦入試などの出願手続きが始まっています。一般入試の願書類もそろそろ発行されてきています。

以前にも書きましたが、私立大学を中心に、出願手続きをインターネットで行う大学が年々増えてきています。出願だけでなく学校案内などもWEBサイトで済ませる学校も出てきているくらいです。

自宅にインターネット環境が無い人や、パソコンはあってもプリンターの無い人などは、学校で援助しますから早めに3学年の先生や進路図書部の先生に相談してください。

出願締切間際に言われて来られても間に合わない場合もありますから、志望校の願書は入手したらすぐに熟読しましょう。

以下は今年の東洋大学の出願方法の例です。大学HPから引用します。

●東洋大学の一般入試に出願するには、「マイページ」に登録する必要があります。

マイページを利用するためには、個別のメールアドレスが必要です。メールアドレスをご用意いただき、マイページ登録を行ってください。



出願方法

マイページに登録！

マイページにアクセスし、「初めてマイページを使う方」をクリック。

メールアドレスを入力し、「マイページ登録に進む」をクリック。<sup>\*</sup>  
届いたメールに記載されている URL をクリックして、パスワードを設定。  
パスワード設定が完了すると、マイページのトップ画面が表示されます。

出願する！

出願をするためには、パソコンとプリンターが必要です。スマートフォンでの出願は、サポート対象外ですのでご注意ください。

マイページのトップ画面をひらく。

「出願する」をクリック。

インターネット出願ページからガイダンスを確認後、その内容に従って登録してください。

これで出願完了ではありません！

支払票と志願票を印刷します。

入学検定料を支払います。必ず領収書を受け取ってください。

受け取った領収書のコピー等を入学検定料収納証明書貼付票に貼り付けます。市販の角2封筒に、宛名ラベル<sup>\*</sup>を貼り、必ず「簡易書留・速達」で送付してください。必要書類については、「出願書類・支払方法等」を確認してください。

本学が志願票を受領し、内容を確認した上で間違いがなければ、出願受付が完了します。

出願受付の状況はマイページで確認できます。

また、以下はWEB出願に関する旺文社『螢雪時代 2013年9月号』特集よりの転載です。

●15年の新課程入試（数学・理科で先行実施）開始を直前に控え、14年私立大入試では科目・方式の変更は比較的少ない。むしろ注目されるのは、前回で既報の通り、インターネットの普及を背景とした「インターネット出願」（以下、ネット出願）の導入、さらには従来の「紙の願書」による出願からの本格的な移行だ。



「ネット出願」は、ネット環境さえ整っていれば、自宅（または学校）から、しかも締切日の深夜まで出願でき、なおかつ記入ミスを未然に防げる（画面ごとに受験生本人が確認できる）利便性が持ち味。出願登録した後、顔写真や調査書、受験料払込の証明などを郵送する必要はあるが（大学によって異なる）、幼い頃からネット環境に慣れた現代の受験生にとって「ネット出願」はむしろ気軽な方法ともいえる。

14年入試から、東洋大では紙の願書を廃止し、全面的に「ネット出願」に移行。また、近畿大もほぼ全面的に（一部の入試を除く）、中京大では一般入試を対象に、やはり紙の願書を廃止し「ネット出願」に完全移行する。

この他、愛知学院大・中部大・大阪工業大・桃山学院大・神戸学院大・福岡大などが「ネット出願」を新たに導入（紙の願書による出願と併用。対象となる入試は各大学で異なる）し、あわせて受験料割引（ネット割）も行う。既に実施している大学でも、工学院大・東京電機大が一般入試（セ試利用含む）で「ネット割」を導入する。割引額は各大学や入試方式で異なるが、だいたい「3千円～5千円」の範囲だ。

一方、ネット環境に恵まれない受験生への対応（全面移行の場合。電話受付や窓口受付による代理入力等の代替方法が検討されている）、高校等の側の負担（個人情報扱えるパソコンの不足、紙やプリンタートナーの使用増）など、解決すべき点があることは確か。とはいえ、今後も「ネット出願」は急速に普及していくものとみられ、教育・研究の充実や奨学金の拡充など、入学者への還元が期待される。

以上